

80代健康女性の聞き取り調査 その3

担当 村岡洋子

80歳(大正8年生れ)

問 . 現在の生活の概要

1) 健康状態.....循環器科のかかりつけ医がある。

2) 食生活.....好きなものは果物、気をつけていることは脂肪を取り過ぎないこと。ビールを時々コップ一杯程、煙草は吸わない。

好き嫌いの無いこと、果物を好むことは生涯を通じて一貫して同じである。

3) 趣味、楽しみや生がい..... 絵画は楽しみ域を越え、今は、少々苦しいが、もう少し頑張りたい。週3回程度の美術館巡りが楽しみ。

息子の家族に子供ができてから同居。夫婦とも勤めているので家事育児を全て請け負った。「70まで勤めるから当てにしないで」と言う息子の連れ合いに驚いたが、最初に一週間話しあって、家事育児を自分の担当と決め、「小遣い」に、と裸で渡された5万円を、月給として封筒に入れて渡してもらうように決めた。現在でも食事一切は仕事として受け持っている。料理は大好きで苦にはならず、孫の友達や、趣味の友人を家に招いて楽しんでいる。

4) 家族について

現在の同居家族.....息子夫婦と同居

別居の家族.....孫は現在東京。年1度程度出会う。

家族への思いは皆が健康であること。

5) 友人・近隣・よく付き合う人々.....趣味の友人(50代、60代) 5~6人、週1~2回程度集まっている。近隣の人とは一日に1回程度

話し合う。

6) 現在の経済的条件.....年金：6万円、駐車場代：5万円 家事労働の労働代：5万円、日常の経費は全て息子夫婦におんぶしている。

7) 上記以外特に仕事・社会活動はしていない。孫を育てている間は色々やった。

8) 家事全般.....一家の家事の殆どはこなす。特に食事の用意一切は自分の仕事として現在もやっている。

9) 一日の生活時間.....規則的

5:00 起床、7:00 朝食、新聞・読書、12:00 昼食、14:00 ~17:00 まで絵画、17:00 炊事、18:00 夕食、TV、読書、23:00 就寝

問 . 誕生時

1) 生年月日 1919年1月24日 2) 三重県津市生れ

出生時の体重...普通

2) 父母の職業.....魚、船具、食料を、“軍御用達”として幅広く家業とする。

問 . 幼少期、問 教育期、問 成人前期

1) 健康状態.....三期を通してずっと健康

2) 食生活..... 父の職業柄食物は豊かであり、果物が好き以外特に好き嫌いのないのも同じ。

3) 遊びやスポ - ツ.....ままごと、おはじき、縄跳び、人形遊び、リレ - 教育期にはテニス加わる。

4) 家族関係.....両親、兄弟7人、使用人(番

頭(3人)、丁稚(10人)、女中(2人)、父が“大切な他人様のお子を預かっているのだから”という方針で食事と一緒に賑やかに暮らしていた。身よりのない遠縁のおじさんが同居していたこともある。

5) 最も印象なできごと、最も影響を受けた人や書物

幼少期：庭掃除、草履を履き、苔を踏まないように松葉や紅葉の落ち葉を一枚一枚丁寧に手で掻いたり拾ったりする。庭師さんにいつも褒められていた。(広い庭を得意になって掃除していた様子が浮かぶ)

教育期

職業軍人の出入りが多かった。

居間に「真心」「忍耐」の大きな額が上がって いた。

食事の後、父から「人の道」を聞かされてうんざりしたが今思えば有意義な話だった。

影響を受けた書物 - 明治・大正の文芸もの

問 . 家族形成期

- 1) 健康状態.....良好
- 2) 出産は軽かった(恐らく息子1人)
- 3) 食生活の趣向品に「甘いもの」が加わる。
- 4) スポ - ツ・楽しみや生きがい.....音楽鑑賞、絵画が加わる。
- 5) 家族関係.....長男夫婦と同居(二人とも仕事を持っている。会社員と大学教員)、実の娘以上に気が合うようになった。始めにきちっと話し合い、理解しあって信頼関係が出来たのがよかった。
- 6) 仕事.....仕事を持つ息子夫婦と同居して、仕事として家事育児を請け負う。
- 7) もっとも印象的な出来ごと.....孫を通して、保育園や学校のあり方新しい時代の進み

かたについて勉強ができた。若いお母さんたちとも積極的に付き合った。

問 . 更年期

1) 健康状態、更年期の症状と対処法。.....何もする気がしないなどの症状はあったが無理して社会参加して意識しなかった。

2) 食生活、趣向品.....あっさりしたものが好きになる。

3) 遊びやスポ - ツ、楽しみや生きがい.....一人旅(地図を調べて研究する)

問 . そして今.....

1) 今こうして元気に過ごす要因.....家族・友人など多くの友達に囲まれて過ごしたこと。精神的要因.....くよくよしない。友人が多くて常に家に集まって賑やかであった。身体的要因(食生活、スポ - ツ等).....健康であること。

社会的要因.....社会参加、いろいろのグループに入って勉強したこと。

2) これまでで、一番して良かったこと。これからしたいこと。

好きな家事、料理で楽しく一家の役に立っていると自負し、給料を手渡されていたこと。得意の料理で家に沢山の人が集まってくれたこと。

孫を育て保母さんたちの手伝いをし、一緒にデモにも参加したこと。PTAで活躍しいろいろな勉強会に入って地域の若いお母さんたちと、お友達になり新しい時代のことも吸収できたこと。

3) 生まれ変わってもやはり女。沢山のこどもたちの世話をしたい。

<担当者コメント>

1. 幼少期から成人前期にかけ、豊かで人の出入りの多い実家で、可愛がられながらも父にきちんとしつけられた。

2. 結婚生活、子育て期のことは不明だが、息子一家と同居後、家事育児を担当し、小遣いでなく給料として袋に入れて受けとるといふ話し合いを一週間にわたってきちんと詰めている。家事育児に仕事としての誇りと評価を求め、息子と夫婦との信頼関係も大切に、いい加減にしない生き方は筋が通っている。

3. 孫の教育もただのおばあちゃんの孫育てでなく、保育園で保育さんと一緒にデモに参加したりPTAの活動で母親たちと親しくなり新しい時代の教育に関心を持ち一人称で参加している。

4. その一方で絵画という自分の領域で趣味を持ちそこでも人間関係を広げている。好きなことで人の役にたち、したいことがあり、人間関係が豊かである、この年代の人としては自己を大切に精神的な自立度が高く見事な生き方である。

87歳（明治45年生れ）
（職業 結婚するまでお
よび42歳より看護婦）

問 . 現在の生活の概況

1) 現在の健康状態

・脳外科で毎月受診・服薬.....昭和62年脳硬塞の徴候ありといわれたので。

・内科医の定期的診察を受けている。昨年と今年2回肺炎に罹り微熱が続いているが平常の生活をしている。

2) 食生活.....何でも食べる。好きなものは魚、レバ-、豆類、牡蠣、日本茶・抹茶。 1日30品目を基本にしている。飲酒喫煙なし。

3) スポーツ、趣味、楽しみや生きがい.....短歌、山草会（花作り、特に高山植物）友の会参加、旅行（山登り）、スポーツ観戦（野球、バレーボール）

4) 家族について.....現在独居、別居の家族..... 長男、次女が同市内に住む。1日1回必ず連絡、休日には来宅、外出時には車の運転をしてくれる。着かず離れずの生活に満足している。

5) 趣味を通して若い人達との交流が多く精神的にも肉体的にも支えになる。

近隣の人達との人間関係もよい。

6) 現在の経済的条件.....自宅（庭付2階建て）

夫の遺族年金+自分の厚生年金（？）で充分生活していける。

7) 社会活動.....以前勤務していた病院・施設等の患者さんの悩みを聞いて相談に乗る。

外出.....絵画、仏像、音楽会、友人との外食等で週に3回 短歌の会月1回、大会年1回、山草会例会月1回、日帰り旅行年2回、2~3泊旅行年1回

8) 家事.....全て自分で。買い物で歩くのを運動にしている。時には子供が車で。

9) 好きな言葉：誠実、モット-：積極的に生きること

山野草の花を咲かせるのが生きがい。

10) 1日の生活時間...極めて規則的

7:30 起床、朝食、新聞・家事、昼食、文通、庭仕事、買い物、入浴、夕食、TV・読書・就寝 22:00

問 . 誕生時

1) 明治45年7月9日、岡年生れ 2) 父43歳、母33歳

2) 父母の職業...商売、当時の家族構成...祖

母、両親、兄 3 人、姉 2 人（後に妹 1 人）

5) 出生時の体重...普通

問 . 幼少の頃

1) 健康

2) 食生活.....毎朝味噌汁。魚を多く食べた。

好きなもの：豆類、きな粉、さつまいも

嫌いなもの：牛乳

3) 遊び.....ままごと、かるた、おはじき、縄跳び

問 . 教育期（女学校を中退して看護学校へいき看護婦の免許を取得）

1) 健康.....涙嚢炎で眼科へ通った程度、初潮：14 歳

2) 食生活.....好きなもの：お正月の雑煮、お祭りのきつねずし、とろろ、甘酒、きな粉、嫌いなもの：牛乳、鶏肉

3) 遊び.....家の手伝いのため小学校高学年からは遊ばなくなる。楽しみは花見、お祭り。

4) 家族関係.....両親、妹。

5) 印象的な出来事.....関東大震災のニュース、落雷により失神したこと。

影響を受けた人.....長兄の精神的、経済的援助に支えられ、青春期に与えられた兄の優しさ頼もしさは今日の私の人格形成に影響を与え職場にも発揮された。

影響を受けた書物.....石川啄木の「一握の砂」

問 . 成人前期

1) 健康状態.....19 歳のとき肺結核で咯血。生理は順調であった。

2) 食生活.....特に好んだもの：牡蠣、お寿司、お菓子、日本茶

3) 遊びやスポ - ツ.....卓球、時々映画

4) 家族関係.....兄の家に同居（兄夫婦、姪）

5) 知人の紹介で病院勤務、職場の人間関係は良好。

6) 最も印象的な出来事.....肺結核が奇蹟的に治ったこと。兄嫁の献身的な看護による。

問 . 家族形成期

1) 健康状態.....良好・結核が完治してからは殆ど病気しない。

2) 妊娠、出産.....結婚 3 年目に流産 1 回、その後 4 人出産。お産は軽かった。

3) 食生活.....好き嫌い無く食べる。妊娠中は嫌いな牛乳も飲んだ。趣好品：日本茶、抹茶。

4) 遊びやスポ - ツ、楽しみや生き甲斐.....忙しくて暇がなかったが子育てが生き甲斐。楽しみは家族で共に郊外へピクニックに行くこと。

5) 家族関係・仕事.....結婚は昭和 10 年、同時に夫の旧満州のハルピン赴任に同行。夫は忙しく家庭参加全くなし。子育てに専念し夫の仕事に陰で尽くした。子育てのため、夜 7,8 回も起きるのが普通だったが病気もしなかった。

7) 印象的な出来事.....第二次世界大戦敗戦後、夫も共に引挙げた。帰国後の生活は大変であったが、試練に耐えたことが今日の幸を築いた。生活のため 42 歳で再び看護婦として勤務する。

問 . 更年期

1) 健康状態、更年期の症状と対処法.....家事と看護婦の勤務で更年期どころでなく、知らずに過ごした。

2) 食生活、嗜好品.....毎朝 6 人の弁当づくりに苦労した。ただ生きるための食事に終始し、食べ盛りの子供に充分なことがしてやれな

かったのが悔やまれる。

3)遊び・スポ - ツ.....全くなし。楽しみは子供の成長

6)介護体験 姑が大腿骨折のため手術で1ヶ月、

夫が前立腺の手術で1ヶ月、胃潰瘍の手術で2週間看護した。

7)印象的な出来事.....身内の人達(姉、姉の息子その連れ合い等)が次々と亡くなったり、障害をもつようになったこと。

問 .そして、今.....

1)今、こうして元気で過ごしていただける最大の要因

よく働いたこと:75歳まで生き甲斐を持って勤められたこと、退職後は趣味を生かして打ち込めたこと、夫と共通の趣味があり、価値観が同じであったこと、若い時多くの試練を乗り越えたこと

精神的要因.....前向きで生きること。平成9年、夫の死去が人生最大の悲しみであったが挽歌を作ることで慰められている。

身体的要因.....食生活に気をつけること、高山植物鑑賞が夢で旅行・山登りをしたこと。

社会的要因.....夫の死去に一旦は悲嘆に暮れたが趣味を通じた若い友人との交流に慰められ、夫の遺志を継いで積極的に生きている。

2)これまでで、一番してよかったこと
80過ぎて西穂高に登れたこと

患者さんと心の交流ができたこと。

これからしたいこと.....体力の続く限り山野草の花を咲かせたい。

3)生まれ変わったら.....男がいい。現在の政治家を見ていて憂慮され、今度は男に生まれて日本のために尽くしたい。

4)元気に生きるために後輩へのアドバイス.....悦んで働くこと、食生活を大切に、夫婦円満、明るく良い友人を持つこと、趣味を持つこと。

<担当者コメント>

87歳にして家事全部をやり、山野草を育て、山に登る。一日の生活時間も誠に規則正しい。アンケートの文字(自筆)も極めて整然として美しい。職業柄とはいえ、身体の部分や病気の名称も全部正確に難しい漢字を使って書かれており感心した。

身体的には結核で喀血したのを兄嫁の献身的な介護で克服し、さらに結婚と同時に夫が満州へ赴任、4人の子育て、引き揚げとその後の生活の苦労等、生活歴は全て順調であったとはいえない。

しかし、それを乗り越えて、病院退職後も患者を訪問して相談に乗り、仕事や趣味を通して良い人間関係を築き、心豊かに87年を生きてきている。

その秘訣は、元気に生きるための後輩へのアドバイスでの本人の言に尽きるであろうが、青春時代に受けた兄夫婦の影響も見逃せないように思える。

しかし、今度生まれ変わったら、ぜひ、男に生まれるのではなく、女性のみままで政治に関わり日本のために尽くしてほしいと思う。

84歳 大正4年生れ

問 .現在の生活の概況

1)現在の健康状態.....概ね良好

持病は胆石(現在は落ち着いている)、腰痛(家事全般に差し支えない程度)。年に一度

人間ドック的検診をして、身体状況を把握してくれているかかりつけ医がある。

2) 食生活.....情報過多の時代に流されぬよう、自分の状態に適した食生活を実行している。エネルギーを控え、食材は多種(野菜は自家栽培が多くできるだけ自然派のものを)、調理法は楽しんで色々試みている。飲酒喫煙の習慣はなし。

3) 趣味、楽しみや生き甲斐.....スポーツは好きだが現在はTVで楽しむのが主。趣味は謡曲、華道、手芸、畑仕事

4) 家族について 現在は 独居。
別居の家族：娘、孫は近畿地区に住む。相互の往来、TEL、FAX 等で接触は多い方。家族への思い：家族は何と言っても心のよりどころ。健康と幸せを祈っている。

5) 友人、近隣、よく付き合う人.....高齢になって来るとやはり少なくなる。交流の多い人は 10 名程度。疎遠でも心の繋がっている人は多数ある。

6) 経済的条件.....年金生活(国家公務員共済、私立学校共済)、日常生活は充足しているが大きな支出は困難である。

7) 社会活動は殆どしていない。外出も多くはない。

8) 家事、家庭管理は殆ど自分です。掃除、買い物、畑仕事は時々助けてもらっている。

9) 好きな言葉、モットー、信条.....自立、人や社会に甘えるな、愛情は降る星のごとく惜しむな、物欲は罪。

10) 一日の生活時間.....極めて規則的

7:00 起床、新聞、8:00 朝食、洗濯・掃除・畑手入れ等、12:00 昼食、TV・読書・整理・買い物、17:00 炊事、18:00 夕食・TV・家計簿、23:00 就寝

問 . 誕生時

1) 生年月日.....大正 4 年 5 月 1 日(高知市生れ)

2) 父 32 歳、母 28 歳

3) 父母の職業; サラリーマン、

4) 当時の家族構成.....: 父、母、姉 3 人

5) 出生時の体重: 普通

問 . 幼少の頃

1) 健康状態.....だいたい良好

2) 食生活.....好き嫌いなし、当時の家庭料理は今から思えばずいぶん貧しかった。行事食はきちんと作った。外食はなし。

3) 姉にくっついて遊んでいた。

5) 家族関係: 父、母、姉 3 人

問 . 教育期 奈良女子師範学校卒業

1) 健康状態.....だいたい良好 初潮: 12,5 歳

2) 食生活.....好き嫌いなし。当時の栄養に関する知識を考え、日常の食事を作った(学生寮生活は自炊)。行事食は工夫して盛んに作った。外食はなし。

3) 遊びやスポーツ.....学校で行うスポーツ(ピンポン、テニス、バスケットなど)は割合熱心に参加した。課外でスキにも行った。全て友人と行動を友にした。

4) 家族関係、友人関係.....姉 3 人は結婚して自立。父母と自分だけ。友人は殆ど学友、特に寮で生活を共にした先輩、後輩との親密な関係は現在も続いている。

5) 最も印象的な出来事.....国家主義的教育、儒教的女性観の中で、何の批判力も無いまま、に流された時代。読書の自由もなく行動も制限されていた。

問 . 成人前期

- 1) 健康状態.....概ね良好、虫垂炎の手術を受けた。生理も概ね順調。
- 2) 食生活.....戦中戦後であったので最低限の日常食であった。行事食おやつ等も代用食品で工夫して形だけは行った。
- 3) 遊びやスポ - ツ.....スポ - ツといえるようなものはなく、国防関係の訓練をしていた。仕事は教職に熱中してそれが悦びであり、生き甲斐であった。
- 4) 家族関係.....父、母、姉、甥、姪達との交流多く、職場関係の友人も多かった。
- 5) 仕事.....子供の時から教師に憧れていたため、教員養成の専門学校を卒業し、国の定めのままに仕事に就いた。高女教諭、師範学校教師、国立大学と移り研究生生活を続けた。それぞれの職場の人間関係は良好で良き時代であった。
- 6) 最も印象的な出来事.....終戦、民主主義教育への転換

問 . 家族形成期

問 . 更年期

- 1) 健康状態.....良好、生理.....順調、更年期の影響はあまり感じなかった。
- 2) 妊娠出産.....妊娠1度、出産は重かった（逆子）
- 3) 食生活.....終戦後の欠食時代、飽食時代と社会情勢により食生活はいろいろと変化し、幾多の経験をした。自分の食生活は無意識だったが子供の食生活には注意した。
- 4) あそびやスポ - ツ、楽しみや生きがい.....職業生活の中に喜びや楽しみを感じとっていった。
- 5) 家族関係.....夫は早く死亡。父母と長女の生活が長く続いた。長女が大学に入り、東京

生活が始まったので、出来るだけ接触度を高めるよう心掛けた。

- 6) 仕事、社会参加.....育児は父母が手伝ってくれたので仕事に没頭することが出来た。新制大学の体制を整えるため、種々の問題が起こり苦労をしたが、新しい仕事の喜びが全てを解決してくれた。社会からの要請が多かったため種々の方面の社会活動へ参加した。

介護体験.....なし

問 . そして今.....

- 1) これまで元気に過ごせた最大要因
打ち込めるものがあったこと。
自己管理を細かく行ったこと。
家族を大切にし看護を第一にしたこと
精神的要因.....研究生生活や、夫死亡のため老父母、娘を一人で支えて来たためのストレスは多大なものがあったが、仕事に没頭できる環境が幸わいして心のゆとりを持つことが出来たものと思う。ストレスに対応する方法を自然に身に付けた。
身体的要因.....家族や自分の身体状況にいつも注意して早めの対応を取るようにしたのであまり大きな病気はしなかった。特に食生活には持てる知識を生かして重点を置いた。朝夕、自分流の体操を行っている。
社会的要因.....家族は少ないが密度は高く皆が大切にしてくれる。家族の喜びが心を豊にしてくれると思う。
- 2) これまでで一番してよかったこと、これからしたいこと。
これから先は分からないが、今まで自立して独居生活をしてきたので緊張感があり、自己管理能力が強くなった。
- 3) もし、生まれ変わったら.....女がいい。あまり変化が多く駆け足の人生だったので、自

分のしたいことをのびにびとできる人生を送りたい。

4) 元気に生きるため後輩へのアドバイス...
...打ち込めるものを見つけること。自己をよく知り、身体的にも精神的にも自己管理が出来ること。日常生活(食生活)を軽視せず大切に考えること。まず、家族関係を平和に保ち心のゆとりをもつこと。

<担当者のコメント>

戦中戦後を女手一つで支えて来るのも、教育の変革期、特に大学改変の時期を乗り切るのも、大変なことであったと思う。しかし、仕事が即、生き甲斐につながり生活を支えてくれたことでは、この当時の女性としては安定した生き方が出来たと思う。筆者の言うように、身に付けた教育、自身の研究への絶え間無い精進(師範学校をでて国立大学の教員になるには、大きな努力があったことと思う)、健康と、家族の良い人間関係がそれを支えたのだが、これも本人の努力で得たものといえるであろう。その意味では、先駆的な女性の生き方ともいえる。出来れば筆者がいうように、もう少しゆとりを持って好きなことができればいいと思うが、後輩たちの生き方はどうなるのだろうか。

91歳	明治41年生れ
-----	---------

問 . 現在の生活の概要

1) 健康状態.....緑内障の手術後1年目で何種類もの目薬を使用している。

現在肩凝りがひどい。掛かりつけ医はある(内科)。

2) 食生活.....何でも食べる、特に好きなものは豚肉。

3) スポーツ、趣味、楽しみや生き甲斐

裁縫、歌舞伎、明治座の芝居、温泉旅行(現在は足が悪く介助が必要)

4) 家族について

現在独居：子供はいない。

別居の家族：養子を貰ったがその子は寄り着かない。異父妹(70代)が同市内に住み何かと気をつけてくれる。

家族への思い：異父妹と一緒に住みたいが、現在の居宅に54年も住んでおり、近隣の人の出入りが多いため、離れたくないので無理である。

5) 友人、近隣でよく付き合う人、10人程度

6) 経済的条件.....国民年金5万、生活保護7万、大工の夫は生活資金を充分には残してくれなかった。今でも本当は受けとりたくない気もするが感謝している。

7) 現在、仕事、社会活動はしていない。

外出は週1回デイサービスで入浴。異父妹一家が月1回くらい温泉、レジャーランドへ車で誘ってくれる。

8) 家事はどの程度.....炊事洗濯は自分で。掃除買物は社協のヘルパー(週1回)にしてもらう。さらに、週1回有料ボランティアに、散歩、薬とり、通院等のサービスを受けている。。

9) 好きな言葉：職人氣質、ざっくばらん、
モットー：体をこまめによく働く。小さい時から、遊びも手伝い(農作業)の内だった。

10) 一日の生活時間.....13時まで床の中にいる。14:00 おやつ、19:00 炊事、24:00 就寝

問 . 誕生時

1) 明治41年2月25日、栃木県生れ。本当は39年だが丙午を嫌って2年後に届けた。

- 3) 父母の職業.....農家
- 4) 家族構成.....祖父母、両親、兄 1、弟 2 の 7 人
- 5) 出生時の体重.....普通

問 . 幼少の頃

- 1) 健康状態.....良好
- 2) 食生活.....野菜・特に人参、麦飯、
行事食：小豆、餅、おやつ：自家製
好きなもの：鰻、卵、 嫌いなもの：特
にない。
- 3) 遊び.....お手玉、おはじき、子守しながら
遊んだ
農業の手伝いが遊びだった・箆を敷いてもみ
を干す、薪を集める、草を刈って馬の餌を集
める等。
- 4) 家族関係.....家族 7 人、奉公人 1 人
- 5) 最も印象的な出来事.....小学校は 2 年間
しか行かなかった。唱歌が甲だった。9 歳の
ときに伯母に預けられ、理由は分からないが
生母と生き別れた。その後は祖父母に育てら
れたが、生母は近所に住んでいた。

問 . 教育期

- 1) 健康状態.....健康、 初潮 13 歳、順調だ
が量が多かった。
- 2) 食生活.....麦飯、玄米、 行事食：赤飯、
外食：しなかった。
好きなもの：小豆あん、渋柿を藁に包んで甘
くした物
- 3) 遊びやスポ - ツ.....友達が近所にいない
から、家の手助けばかりだった。
- 4) 家族関係.....奉公に行った。貰われて行っ
たと思っていた。おじさんおばさん娘 2 人
- 5) 最も印象的な出来事.....東京へ奉公にや
られる。奉公先の主人は外国暮らしで家には

病弱な奥さんと息子・娘自分の 5 人ぐらし。
歌舞伎を見にいかせてもらって、白い羽織り
姿のいなせな大道具師を格好いいと思う。そ
れ以来歌舞伎は好きである。大学制の息子さ
んに花電車を見に連れて行って貰った。行儀
見習いの小間使であったが、寂しくて 1 年で
家に戻してもらった。

問 . 成人前期

- 1) 健康状態.....健康
- 2) 食生活.....変わりなし。煙草を吸い始める。
- 3) 遊びやスポ - ツ.....たまに映画、高遠の桜
見物
- 4) 奉公に出された先で 1 回目の結婚をする。

問 . 家族形成期

- 1) 健康状態.....良好、生理：順調。
- 2) 妊娠・出産.....最初の子を流産、以後不妊
である。
- 3) 料理屋で働いていたときはいろいろなご
馳走を食べた。煙草 2 箱のヘビ - スモ - カ -
になる。
- 4) 遊び、楽しみや生き甲斐.....歌が上手とい
われた。安木節、さのさ、どどいつ、いな節
等を習った。
- 5) 家族関係.....奉公先での 1 回目の結婚で
は、すぐに店番をして商い上手といわれて励
みにした。舅、姑、小姑（姉）、自分たち夫
婦。
父親、兄弟は川口で鋳物工場をしていた。
別居した生母は異父妹を連れている。（この
人に今、何かと世話になっている。）
- 6) 仕事.....婚家では店番、裁縫、家事、暮れ
の賃餅つき、等をしていた。夫が女遊びで家
を顧みないので 25 歳で東京へ逃げ帰った。
35 歳まで鮎屋の手伝いをする。 3 度目の結

婚後は宮大工の夫の手伝いと弟子を育てながら、川口工場の電話番を続けた。

7) 最も印象的な出来事……最初の婚家先から逃げ出したこと。

そこで、33歳のとき、境遇の似ている青年と恋愛結婚、優しく清潔な人であったが、3年後に病死してしまったこと。

その後、働いていた先で、見合い結婚をする。宮大工の夫は律義で、気っぷがよく、職人氣質を誇りにしていた。

問 . 更年期

1) 健康状態、更年期症状……38歳のとき子宮筋腫、盲腸の手術をした。命を助けられてその医者を一生の恩人と思っている。更年期症状は少し出た程度。

2) 食生活、趣向品……たばこ2箱のヘビースモーカー。

3) 遊びやスポ - ツ、楽しみや生き甲斐……歌舞伎、映画、荒川ぞい五色桜の見物。川口工場の近くの縁日の賑やかさを楽しんだ。

4) 家族関係……夫婦 2 人、職人 3 人、女性の手伝い 1 人。

5) 仕事……大工の夫の手伝いをしながら、工場の雑役婦として働く。本工員にならなかったのが、今も残念。

6) 最初の結婚の時、姑の介護をする。夫 2 人は介護の必要は無く病死だった。

7) もっとも印象的な出来事……恋愛結婚をした二度目の夫が病死したことを今でも哀切に思う。 三度目の夫は 85 歳で死亡。35 歳から 76 歳まで添い遂げた。良い人であった。

生母に面倒を見て貰えなかったため、十分な教育を受けられず、厚生年金等、社会制度にも無知であったため、唯唯働くだけの生活

であり、生活保護をいただくことになったのが悔やまれる。

問 . そして今……

1) 今こうして元気に過ごせる要因……健康であったこと。

精神的要因……正直で一本気、前向きで元氣、表裏が無い性格、口が立つ。

職人肌の気っぷの良さを夫から学んだ。

身体的要因……農家そだちで丈夫であり若い頃から良く働いた。丈夫な家系であり、祖父母に大切にされ子供時代に十分に栄養を与えられた。

社会的要因……三人の主人に仕えたが、夫の大工の腕で信用され助けられた。

2) これまでで一番して良かったこと。これからしたいこと。……主人を助け、立派な大工の仕事をご近所に残したこと。職人の面倒を良く見たこと。上品振らないで生きられたこと。

三味線の伴奏でどどいつがうたいたい。

3) もし、生まれ変わったら……学校教育を受けていればもっと良い仕事につけたのに、と一生の無念。

明るく賑やかな仲間のある生活。

4) 元気に生きるための後輩へアドバイス。… …人と喧嘩はしない。情のある、損得を考えない、正直な言動。付き合いを大切に、人の面倒を良く見てあげる。

< 担当者コメント >

波乱に富んだ生き方である。小学校 2 年生までしか学校に行っておらず、家庭の事情であちこちに預けられ、“他人の飯”を食べることになったが、幼い頃に農業の手伝いでこまめに体を動かしたことと、本来の明るい性

格で人に可愛がられた様子が推察できる。その期間中に農家育ちに関わらずどこか粋な匂いをこの人の人生に添えたようである。

最初の結婚は、夫の女性関係で上手く行かなかったが、変に我慢せず、とっとと出てきてしまう所がこの人らしい。2度目の夫からは愛情を、三度めの夫からは職人氣質の誇りと気っぶのよい生き方、信用の大切さを学び、そのお陰で人生に対する愛情と、人の面倒を見ることを学んだのであろう。

子供が無かったせいで女一匹、怖い物なしに働いて生きてきたが、その揚げ句に生活保護を受けることになったことで、教育を受けなかったことを本人は悔やんでいる。

91（実際は 93 らしい）という高齢で、異父妹の一家と仲よくし、家事のかなりをこなして明るく生活しているのは、美事であってこの人の本来の人となりがかような人生を送らせたのか、80歳の人生がこの人をこういう風に育てたのだろうか。

付.HerstoryofHerHealth 一元気高齢女性の健康に関するライフコース調査票

問 .現在の生活の概況・現在の生活と健康状態について

- 1)現在の健康状態、持病の有無、医療機関との接触、(かかりつけ医の有無や、どんな病院の何科にかかっているか)
- 2)食生活。好きな食べ物。気をつけていること。飲酒喫煙の有無など。
- 3)スポーツ、趣味、楽しみや生きがい
- 4)家族について
 - i)現在の同居家族、居住形態(ex. 娘夫婦と二世帯住宅、息子(独)と同居、など)
 - ii)別居の家族(どこに。接触頻度)
 - iii)家族への思い、要望
- 5)友人・近隣・よく付き合う人々(人数)
- 6)現在の経済的条件(主たる収入源、充足感、住宅条件など。できれば金額も)
- 7)現在の仕事、ボランティアを含め社会活動(外出・訪問先、外出頻度など)
- 8)家事全般をどの程度しているか。誰かに助けてもらっているか。炊事、洗濯、掃除、買い物など
- 9)好きなことば、モットー、信条など
- 10)1日の生活時間、起床から就寝まで。(規則的か、睡眠時間、眠れないときの過ごし方など)

問 .誕生時

- 1)生年月日(年月日)と出生地(都道府縣市町村)
- 2)父母の年齢
- 3)父母の職業(家業)
- 4)当時の家族構成
- 5)出生児の体重(普通より大きかったか、小さかったか)

問 .幼少の頃(小学校入学以前)

- 1)健康状態(大きな病気やけが)
- 2)食生活(日常の食事、行事食、外食、おやつ、好きなもの、嫌いなもの、よく食べたもの)
- 3)遊び(誰とどんな遊びをしたか)
- 4)家族関係(親子、きょうだい)
- 5)もっとも印象的な出来事

問 .教育期(女学校卒業くらいまで、学歴、あるいはこの時期の職歴について)

- 1)健康状態(大きな病気やけが)、初潮(年齢、印象など)
- 2)食生活(日常の食事、行事食、外食、おやつ、好きなもの、嫌いなもの、よく食べたもの)
- 3)遊びやスポーツ(誰と何をしたか、楽しみや生きがい)
- 4)家族関係(親子・きょうだい関係・友人との関係)
- 5)もっとも印象的な出来事、もっとも影響を受けた人や書物

問 .成人前期(学校卒業から結婚まで、独身の場合20代いっぱい)

- 1)健康状態(大きな病気やけが)、生理(順調か不順か、生理痛)
- 2)食生活(日常の食事、行事食、外食、おやつ、好きなもの、嫌いなもの、よく食べたもの)、嗜好品(酒、たばこ)
- 3)遊びやスポーツ(誰と何をしたか、楽しみや生きがい)

- 4) 家族関係(親子、きょうだい関係、友人との関係)
- 5) 仕事(なぜ、どんな経緯で職を見つけたか、仕事の内容、職場の人間関係、喜び、不満など)
- 6) もっとも印象的な出来事、もっとも影響を受けた人や書物など

問 . 家族形成期(結婚、子育て、子どもの成長)、独身の方は30代、40代

- 1) 健康状態、生理
- 2) 妊娠、出産、流産(中絶)。お産は軽かったか、重かったか。
- 3) 食生活、嗜好品
- 4) 遊びやスポーツ、楽しみや生きがい
- 5) 家族関係(夫、夫の家庭参加、親子・きょうだい・実親および義理の親との関係、友人との関係)、当時の居住形態(舅姑との同居の有無など)
- 6) 仕事(家事育児との両立、職場の問題、仕事(労働)が心身に与えた影響)
- 7) もっとも印象的な出来事、もっとも影響を受けた人や書物など

問 . 更年期

- 1) 健康状態、更年期の症状と対処法、評価あるいは感想
- 2) 食生活、嗜好品
- 3) 遊びやスポーツ、楽しみや生きがい
- 4) 家族関係、友人関係
- 5) 仕事、社会参加
- 6) 介護体験の有無(更年期以前でも介護体験ありの場合は、その期間と介護内容などをここで書いて下さい)
- 7) もっとも印象的な出来事、影響を受けた人や書物

問 . そして今...

- 1) これまでの人生を振り返って、今こうしてお元気にお過ごしになられるのは、何が大きな要因とお思いになられますか。(とくに最大要因は?)
 - i) 精神的要因(くよくよしない、など)
 - ii) 身体的要因(食生活、スポーツなど)
 - iii) 社会的要因(家族、友人、社会参加)
- 2) これまでで、いちばんして良かったこと。これからしたいこと。
- 3) もし生まれ変わったら、今度は女、男、どちらですか。どんな人生を生きたいとお思いですか。
- 4) 元気に生きるための後輩へのアドバイス